

研究の視点からのモニタリング

- (1) 「普及啓発及び教育」 木原正博委員
- (2) 「検査相談体制の充実」 今井光信委員

施策評価のための提案—住民の啓発レベルのモニタリングの例

平成 19 年 9 月 9 日

京都大学大学院医学研究科 木原正博

1. 目的

HIV/STD 関連の知識・意識や検査情報などをポピュレーションレベルで経年的に測定し、強化すべきポイントを明確とし、目標の明確なエイズ啓発施策の発展に資する。

2. 対象集団

① 在宅住民調査：

対象サンプル：住宅地図によってランダムサンプリングした全都道府県の 20000 人
回収数 15018 人（男性 3068 人、女性 11944 人）、回収率 75%
40-50 歳代が 7-8 割を占める。

② 自動車教習所受講生調査（3 月末実施）：

全国 965 校中、某社と契約のある 310 校から 101 箇所を実施（希望ベース）。
回収数 15949 人（男性 7980 人、女性 7582 人）
10-20 代が 8 割を占める。国民の 90%が運転免許をとる現在、ランダムサンプルに近い。

3. 調査項目

A. エイズや性感染症の流行状況について（正しい、正しくない、わからない）

1. 最近、中国ではエイズウイルスに感染する人が増えている
2. 最近、台湾では大きなエイズ流行が起きた
3. 最近、日本ではエイズウイルスに感染する人が増えている
4. 最近、日本では性感染症（性病）に感染する人が、10 年前より大きく増えた
5. 最近、日本では 10 代から 20 代前半の女性で、妊娠中絶する人が 10 年前より大きく増えた
6. 最近、あなたのお住まいの都道府県では、エイズウイルスに感染する人が増えている
7. 最近、あなたのお住まいの都道府県では、性感染症（性病）に感染する人が、10 年前より大きく増えた
8. 最近、あなたのお住まいの都道府県では、10 代から 20 代前半の女性で、妊娠中絶する人が 10 年前より大きく増えた

B. エイズの治療や検査について（正しい、正しくない、わからない）

9. 治療が進歩したので、早く治療を受ければ、エイズウイルスに感染しても、普通に近い生活ができるようになった
10. エイズウイルスの中には、一部の薬がきかないものが出てきている
11. エイズ検査では、感染してから数日たてば、感染しているかどうか分かる
12. 保健所（保健センター）では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができる
13. 自分の住んでいる都道府県には夜間もしくは休日にエイズ検査を受けられる公的な検査所がある
14. 自分の住んでいる地域以外の保健所でもエイズ検査を受けることができる
15. 病院や医院では、自費であれば、実名でなくてもエイズ検査を受けることができる
16. エイズ検査でエイズにかかっていることがわかった場合、名前や住所が国に報告されることになる

っている

C. エイズや性感染症の感染について（正しい、正しくない、わからない）

17. エイズウイルスに感染した人が使った食器を使うと自分も感染する可能性がある
18. エイズウイルスに感染しても、10年近くは自覚症状がない
19. エイズウイルスに感染しやすさは、男性と女性で同じである
20. クラミジアという性感染症（性病）にかかると、自覚症状が出ることが多い
21. 性感染症（性病）は、口から性器に感染することがある
22. 性感染症（性病）は、性器から口に感染することがある
23. 性感染症（性病）にかかっていると、エイズウイルスに何倍もかかりやすくなる
24. 性感染症（性病）を治療しないと、妊娠できなくなることがある
25. 性感染症（性病）にかかっていると子宮ガンにかかりやすくなる

D. エイズや性感染症（性病）に対するあなたご自身の危険について（5段階スケール）

26. 現在の自分が、性感染症（性病）にかかる可能性はどれくらいあると思いますか
27. 現在の自分が、性行為によってエイズウイルスに感染する可能性はどれくらいあると思いますか

E. 性生活について

28. あなたは性交渉の経験がありますか（はい、いいえ）
29. 最初の性交渉は何歳のときでしたか
30. これまでの性交渉の相手は何人ですか
31. 性交渉のときによくコンドームを使用しますか（はい、いいえ）

F. エイズ検査について

32. テレビで「うしくん」が出てくるエイズ検査コマーシャルを見たことがありますか
33. これまで、妊娠や手術の関係以外で、エイズ検査を受けたことがありますか
34. 過去1年間に、妊娠や手術の関係以外で、エイズ検査を受けたことがありますか

4. 調査結果（添付表：Q1-25までの集計）

- ・都道府県によって、啓発レベルが異なる。
- ・若者〔自動車教習所受講生〕と中高年（在宅住民）では知識レベルが異なる。
- ・地元情報が不足している。
- ・夜間検査情報が普及していない。
- ・STD 予防知識が不足している。
- ・合格水準（70%）を越す項目は5項目しかない。
- ・重点都道府県も非重点地域と差がなく、努力が求められる。

5. 評価指標についてのオプション

- ・重点地域だけで行う（表中黒枠）。
- ・各項目の%を比較する。
- ・スコア化（重み付けをする）して平均値を計算する。
- ・順位付けをする。
- ・定期的（3-5年）に地域、項目、重み付けを再設定する。
- ・継続的にかつ評価に十分なサンプル数を確保できるだけの定常予算を確保する。